

2025年7月16日

輸送動向について（2025年度第1-四半期）

1. 輸送概況

米国の関税政策や中東情勢の混乱等で国内景気の先行きが不透明な中、消費者物価の上昇により、個人消費は伸び悩んだ。当社においては、食料工業品や化学工業品が低調な荷動きとなった一方、エコ関連物資や農産品・青果物が堅調に推移し、輸送実績合計では、前年を上回った。

コンテナは、引き続きエコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬により前年を上回ったほか、農産品・青果物は、政府備蓄米の流通拡大により東北・新潟地区において増送となった。また、自動車部品は、一部顧客における増送により前年を上回った。コンテナ全体では前年比105.4%となった。

車扱は、セメントが、顧客工場の定期修繕計画の変更により出荷量が減少し減送となったほか、亜鉛が、顧客の輸送終了の影響を受け、車扱全体では前年比94.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.3%となった。

2. 輸送実績

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,750	4,506	105.4%
車 扱	1,673	1,771	94.4%
合 計	6,423	6,278	102.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	319	292	26	109.0%
	化学工業品	387	393	-6	98.4%
	化学薬品	268	270	-2	99.0%
	食料工業品	776	798	-22	97.2%
	紙・パルプ	503	505	-1	99.6%
	他工業品	301	287	13	104.7%
	積合せ貨物	816	808	7	101.0%
	自動車部品	190	177	12	107.3%
	家電・情報機器	90	96	-5	93.9%
	エコ関連物資	250	90	159	275.4%
	その他	846	783	63	108.1%
	コンテナ計	4,750	4,506	244	105.4%
車 扱	石油	1,214	1,228	-14	98.8%
	セメント・石灰石	236	274	-38	85.9%
	車 両	164	171	-7	95.9%
	その他	57	96	-38	59.7%
	車 扱 計	1,673	1,771	-98	94.4%
合 計		6,423	6,278	145	102.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)